

堂本 暁子

はぐくみの杜を支える会
代表（予定）

私が児童養護施設に関心をもつようになったのは、2歳になる華子ちゃんという子どもに、ある乳児院で出会ったからです。華子ちゃんが、乳児院に来たのは両親から両手、両足を折られるほどの虐待を受けたからです。

しかし、華子ちゃんは乳児院で、若く、心の美しい保育士さんに出会います。彼女の献身的な、肉親以上の愛で、華子ちゃんは明るく、健やかに育っていました。私が感動したのは、その保育士の人間性です。もう40年前のことです。



高橋 克己

生活クラブはぐくみの杜君津
施設長（予定）

今、様々な理由で家庭で生活することが困難であり、安心して健やかな子ども期を必要としている子ども達や、大人の都合で傷つき震えている子ども達がたくさんいます。そんな子ども達にとって、自分を支えてくれ、見守ってくれ、幸せを願ってくれる大人との出会いこそが、人への信頼感を取り戻し、生きていくことへの勇気と希望を宿してくれます。子ども達の成長と笑顔は、私たちが生きるこの社会の希望であり願いです。

生活クラブ風の村はぐくみの杜君津は、子ども達の幸せを願う多くの方々の応援を力に、尊ばれ、癒される育みを護る寄り添う家となれるよう歩んでいきたいと思っています。

久保 貴子

生活クラブ虹の街
児童養護施設支援プロジェクト座長



施設に入るのは、特別な子どもたちでしょうか？そうではありません。子どもは、等しくその子らしく育つ権利を持っています。

しかし実際には、社会や家庭の些細なひずみから、一番弱い立場の子どもたちが、そのしわ寄せを受けています。施設に入るまでの間、辛い思いをしてきた子どもたちだからこそ、大切にされ癒される中でもう一度自分らしさを取り戻し、自分らしく育ってほしいと思います。

その傍らに寄り添い、子どもたちが本来持つ力を発揮できるよう、そっと背中を押す…そんな存在であり続けたいと思います。



生活クラブ風の村はぐくみの杜君津

千葉県内の児童養護施設不足にともない、千葉県の公募を受けて生活クラブ風の村（社会福祉法人）が君津市に建設し、2013年9月開設予定。定員40名。2歳から原則18歳までの親と暮らせない子どもたちを受け入れる。

施設は子どもたちの生活の場であり帰る場として、「尊ばれ 癒され 育まれる」の基本理念のもと開設と運営準備が進んでいる。建物は6つのユニットと共有スペースからなり、それぞれひとつの家のように、真ん中にリビングを囲む家庭的な雰囲気を大切にしている。

「はぐくみ」は「羽包み」

親鳥がヒナを自らの羽で包んで愛しみ育てるという意味からきている「羽包み（=育み）」。施設長に就任する予定の高橋克己氏の考案で施設名となりました。決して順風とはいえない家庭や社会の環境の中で育っていく子どもたちに「はぐくみの杜君津」が「羽包まれる」場所であってほしいと願わずにはられません。

※「旅人の宿りせむ野に霜ふらば
おめ たづむら
吾が子羽ぐくめ天の鶴群」 ～万葉集～

はぐくみの杜を支える会 入会のお願い



画：白井由智
生活クラブ風の村はぐくみの杜君津職員（予定）

支援組織「はぐくみの杜を支える会」への加入 支援活動へのご協力をお願いします。

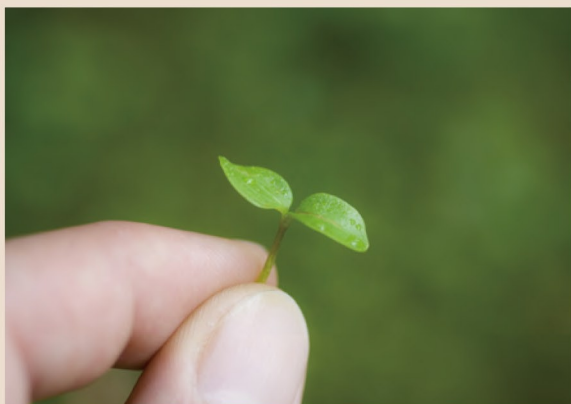


核家族化や地域コミュニティの希薄化、失業者の増加や格差社会、そんな社会のひずみの影響を受ける立場の弱い子どもたち。虐待や様々な理由により親がいても一緒に暮らせず、児童養護施設に入所してくる子どもたちは、後を絶ちません。

私たちは「生活クラブ風の村はぐくみの杜君津」に暮らす子どもたちが健やかに育ち未来へ羽ばたいていけるよう、地域ぐるみの支援活動体制を作り、支援活動をすすめていきます。

また将来的には、親と暮らせない子ども達が増えている社会に対し、孤立・貧困・虐待等の問題をおおせいで主体的に考え、できることを積み重ねていきます。

子どもたちは、大切にされる経験の中で自分や他者を大切にしていけることを覚えます。大切な子ども時代を、すべての子どもたちが自分らしく過ごせるような社会を作っていきたいと考えます。



1. 設立の目的

- ・生活クラブ風の村はぐくみの杜君津」に暮らす子どもたちの支援活動
- ・児童養護施設に暮らす子どもたちの自立支援ファンドづくり
- ・児童虐待等、現代社会における子育て・子育てに関する問題への対応

2. 設立 2013年4月

3. 名称 「はぐくみの杜を支える会」

4. 組織体制

代表は、前千葉県知事の堂本暁子氏が就任予定です。
他、役員と運営委員会をおきます。

5. 年会費

個人会員 1口¥2400/年 団体会員 1口¥5000/年

- ・個人会員は総会議決権を有する正会員と、有しない賛助会員を選択してください。団体会員は総会議決権を有します。
- ・加入後1年分の会費を振り込んでください。生活クラブ虹の街の組合員は共同購入代金と一緒に毎月200円を引き落としします。

6. 計画中の支援活動

①物品提供の仲介

子どもたちの暮らしを支えることに必要な物品のリストを作り物品の種類・時期・対象・地域を決めて募集・回収します。

②ボランティアコーディネート

※ボランティアコーディネート実績を持つ、NPO法人VAICコミュニティケア研究所（生活クラブ千葉グループ）と連携のもと進めていきます。

- ・マンツーマンを基本にした家庭学習指導
- ・外出等の同行・送迎（主に幼児～小学校低学年）
- ・ホームごとに開催する企画の運営支援
- ・施設に訪問して行う自主企画の実施
- ・子どもの誕生日に合わせバースデーカードやプレゼントを贈るなど、施設に行かなくてもできる支援
- ・子どもの夏休みなど長期休暇時の外泊受入れ
- ・技能を持つ人を講師に迎え交流する就職支援
- ・地域の企業や商店での職業体験

③自立支援ファンドの運営

広く呼びかけながら意思ある寄付を募り、すべての子どもの未来のために活用していきます。

当面は児童養護施設に暮らす子どもたちの生活の充実と自立支援とし、将来的には、児童虐待等の社会問題解決にも取り組んでいきます。

入会申し込み用紙

- ◆「はぐくみの杜を支える会」設立までは、生活クラブ生協千葉（虹の街）が加入申し込み受付を代行します。加入に際していただいた会員情報は、生活クラブ生協千葉（虹の街）と「はぐくみの杜を支える会」で共有することになりますので、ご了解ください。
- ◆生活クラブ生協千葉（虹の街）の組合員でない方は、責任を持って情報を一旦お預かりし、「はぐくみの杜を支える会」設立後、会事務局にて入会手続きをさせていただきます。
- ◆下記申込用紙に必要事項を記入の上、以下の方法で提出してください。
- ◆郵送の方は封筒に入れ、切手を貼って投函してください。
〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12
生活クラブ生活協同組合 本部組織部行き
- ◆FAXのかたは裏面を送信してください
生活クラブ虹の街FAX 043-279-7490
- ◆生活クラブ生協千葉（虹の街）組合員の方は、配達便に提出または、デポー持込も可能です。

▼ キ リ ト リ

「はぐくみの杜を支える会」入会申込用紙

生活クラブ虹の街本部組織部行き

入会される方の氏名	フリガナ
住所	〒
TEL/FAX	(FAX: 有・無)
加入口数	一口年間¥2,400 × () 口
「はぐくみの杜を支える会」の総会議決権を () 持つ [正会員] () 持たない [賛助会員]	
ご家庭で生活クラブ生協千葉（虹の街）に加入していますか () いいえ () はい → 組合員氏名 組合員コード () ()	
ご協力いただけることに○を付けて下さい () 会員となつて、会費で支援する () 家庭内の不用品等の物品を提供し支援したい () ボランティアをして支援したい →() 現地で () 在宅で () 会費とは別に、自立支援のファンドに寄付したい	
応援メッセージ等ありましたら、自由にお書きください	

※いただいた個人情報は児童養護施設支援の活動以外には活用いたしません